

# 生活創造空間

## にし

NISHI

～アンラシネを目指します～

第31号 2017年1月20日発行



春の気配

## 2017年

### あけましておめでとう

### ございます。

生活創造空間にし 館長 松本孝治

新年を迎えるにあたって、昨年とは振り返ると世界情勢や経済の動向なども光が見いだせないような感じを持ちます。

私たちは、昨年のことを思えば、「津久井やまゆり園」の事件でしょう。

古い日本の福祉では障がいをもつ人たちを人里離れた所に収容し大規模施設を作る政策を進めてきました。そのように障がいを持つ人を社会から分離・隔離してきた歴史が、今回の事件の中に凝縮されているように感じます。

身近な私たちの問題として、あの事件以降、再発防止策がい

ろいろな所やマスコミ等であれこれ論議されています。

元施設職員による殺人は、言葉にならない程の驚異です。では何が必要で、何が欠けているのか。必要なのは地域で、町で「出会い」、単に「障がいを持つ人」とひとくくりにするのではなくて、理解しお互いが分かり合えたり、話ができる。でも、それだけではない困ったことだってある。そんな個々の人が自然に出会い、あいさつができる関係です。お互いを尊重し認め合う存在として分かり合えば、良い出会いやふれ合いができると思います。

それぞれの違いを認め合える関係が大切なのだと思います。具体的には、障がいのある人もない人も共に学び、共に暮らし、共に働き、共に老いていく、そうしたことが当たり前になる共生する社会です。誰もがお互いを尊重し、排除されたり排除したりしない、分け隔てられることのない地域、町で共に生きる社会、少数者や困難を抱えた人を地域社会からはじき出すのではなくさまざまな特性を持った人たちが、地域で一緒に生きられる社会でありたい。皆が違う存在としてありのまま迎え入れる、そういうことを大切にしていきたい。

年頭にあたって、さらに思いを深く持っています。

本年もどうぞよろしくお願い致します。



# 障がい当事者の思い・言葉を聞こう4

～ 地域で育ちあう、暮らしあう、生きあう～

就労サポートセンター エヌ・クラブ 村田 雄一

今年度のテーマは、地域の方々が考える「地域での暮らし」と障がい当事者・福祉施設職員が考える「地域での暮らし」について、お互いが歩み寄ってお互いを知りあえるような研修会を企画しています。第4回目の研修が、11月17日に実施されましたので、ご紹介させていただきます。

今回は、**認知症と統合失調症**について、誠心会神奈川病院の玉澤先生をお招きして、ご講義をいただきました。

知っていましたか？認知症は、85歳以上になると、4人に1人が発症されているというデータがあり、2012年の調査で462万人、2030年には、700万～900万人まで増加する見込みで、全人口の6～8%になると予測されています。患者数は、調査のたびに増加しているんです！とても身近なものなんです！

そんな認知症と症状が似ている病として、**統合失調症、意識障害、せん妄、うつ**等が挙げられています。

認知症と統合失調症の大きな違いは発症年齢が大きく異なり、認知症は若年性でも平均51歳であるのに対して、統合失調症は、20代～30代での発症が多いとの事でした。

分かっているようで知らなかった事も多くあり、先生のお話の中でも、別の病院でアルコール依存症と診断を受けて治療をしても改善されないなどの相談があり、再度診察し、認知症として非薬物療法を開始すると暴力行為など中核症状が改善されたとありました。

分かっているようで（つもりで）も知らなかったことが、沢山ある事に気づくことができる研修で、また、実際の症例などを挙げて、お話をして下さり、わかりやすく違いを学ぶことができました。一方で、専門家でも診断をするのが難しいほど、症状が似ているということに驚きを覚えました。

認知症は、根本治療はできないと言われていています。しかし、進行を遅らせる、予防することや、ご家族や周りの人に理解してもらい、助けてもらえる準備をする為にも、早期診断・早期発見が大切です。研修テーマになっているように、地域で暮らすために、お互いが歩み寄ってお互いを知りあえる第1歩になればと思います。

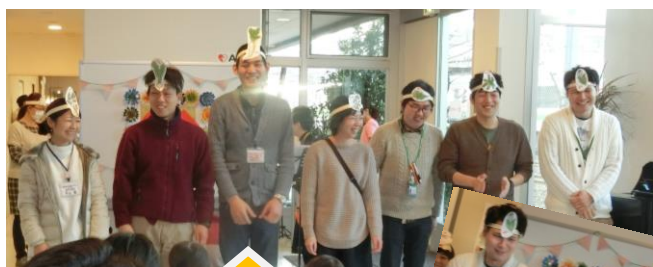
**次回は、3月4日(土)の13時半から15時半を予定**しています。「誰もが暮らしやすい地域って??」と題し、参加者みんなで話し合えるような形の研修を企画しています。今年度の集大成として、そして今後につながるような内容です。是非、たくさんの方々の参加をお待ちしております。

# ななくさ せっく ほうこく 七草の節供報告

平成29年1月7日（土）、生活創造空間にしに子どもから大人まで、さまざまな年代の方、総勢70名の方が参加され、新春から大賑わいとなりました。

今年度、7月7日の七夕からスタートした「みんなの節供」。1部はおもちゃのはこさん、ショコラティエさんによるコンサート。2部は当館の給食業務をお願いしているニコクトラストさんが作ったお食事を皆さんでおいしくいただけます。

今回は、生活創造空間にし内を見守る、「七草レンジャー」と暗い夜道をおうち近くまで送ってくれる、「無事かえる隊」を新たに加え、地域の方々をお迎えしました。また、お食事は、七草粥はもちろん、おでん・おにぎり・唐揚げ・デザートを皆さんでわいわい楽しくおいしくいただきました。三浦創生舎で作っているおいしい餃子を、こちらにも初登場！「餃子シスターズ」がふるまいました。



七草レンジャー参上！



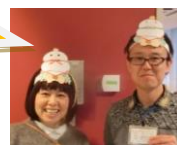
おもちゃのはこ&  
ショコラティ♪



三浦創生舎の餃子です



今回もお越しいたいてあ  
りがとうございます！  
カ 餅太郎&杵臼餅子



次回は、3月3日（金）桃の節供です。音楽を聴きたい方、食事を皆で楽しく食べたい方、色々な方と話をしたい方、もちろん宿題をやりに来ても構いません。こんなことできるかな？あんなこともできるかな？皆さんのアイデアもいただくとありがたいです。様々な可能性を秘めている、そして皆さんで創っていく「居場所」。それがみんなの節供です。さあ、いろーんな人集まれえ！！

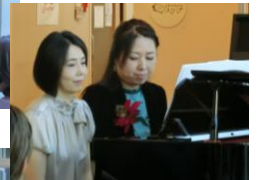
（クイズ）春の七草はわかりますか??（答えは裏面）

# ステーション邂逅Vol.19開催!

おもちゃのはこ ワンダフル★クリスマスコンサート

2016年12月10日、昨年に引き続き、おもちゃのはこ ワンダフル★クリスマスコンサート インガッツ&エヌが開催されました。

クラシカルな音楽から世界のメロディー、心に響くミュージック…3部構成の素敵なコンサートはランチコンサートの時とはまた一味違うおもちゃのはこミュージックワールドに酔いしれた素晴らしい時間だったのでないでしょうか。  
東北・熊本の復興支援物産販売にもご協力頂きありがとうございました。



腹黒日記～黒々なるままに～

☆男☆

男は皆、男が好きだ。

1号休載させていただき、その上、いきなりのカミングアウトか!と驚く方もいたかと思うが誤解しないでほしい。男と言っても男気のことだ。漢とも書く。私たちの世代では週間少年ジャンプの魁!!男塾に強い感銘を受けた少年達は少なくない。また、東日本大震災の時には自衛隊の駐屯地で長瀬剛がゲリラライブをおこない、自衛官たちは「限界が伸びた」と話したともいう。

球界では広島カープの黒田博樹がメジャーの巨額オファーを蹴って古巣広島に戻り、チームを25年振りのリーグ優勝に導いたことは記憶に新しい。しかし、私に言わせると黒田の男気はまだまだ甘い。球界で本当に男気があるのは読売巨人軍 村田修一だ。2007年10月4日(当時彼は横浜)、対ヤクルト戦、鈴木健の引退試合。回は8回裏、鈴木 of 生涯最終打席。鈴木は19年間のプロ生活を一球ずつ振り返るかのようにファールで粘り、迎えた13球目、ストレートを捕え損ねた打球はふらふらと三塁後方のファールグラウンドに上がる。当然、サードの村田は追いつくも自身の判断で敢えて捕球せず、鈴木 of 打席は続く。結果、2球後にセンター前にクリーンヒットを放ち、自らの引退に花を添えた。私の拙文では伝わらない。是非、YouTubeで「村田修一 男気」と検索してほしい。(腹ぐろーる)

3Pクイズの答え: **せり、なすな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ**

生活創造空間にし URL: <http://www.souzoukuukannishi.org>

【発行・印刷】生活 創造 空間 にし広報委員会 〒220-0055 横浜市西区浜松町14-40

☎ 045-250-6506 (ガッツ・ビーと西) ☎ 045-250-6470 (エヌ・クラブ)